



「脱原発」を求めて 15,000人の市民が集った



藤田祐幸さん

集会は沖繩エイサーで幕を開け「原発と基地はいらない!」のメッセージに会場からは拍手が上がった。シンポジウムでは、これまで原発の危険性を訴え、活動を続けてきた4人が脱原発を訴えた。その一人、藤田祐幸さん(元慶應義塾大学助教授)は「市民に原発の危険性を伝えることが使命だと思ひ、二度と被曝者を出さないようにと活動し

2011年11月13日、福岡市舞鶴公園で「九州・沖縄・韓国に住む市民でつくるさよなら原発!福岡1万人集会実行委員会」の主催で集会が行われた。グリーンコープも組合員に参加を呼びかけ、ひろしまからみやぎまでの単協から組合員や職員、ワーカーが100人程駆けつけた。グリーンコープは会場でも独自の集会を行った。

集会は「二度とふたたび悲惨な原発事故の悲劇をくり返してはなりません。私たちは今日、ここに集った1万有余の意思として、すべての原発の廃炉をもとめます」と集会宣言をして、デモ行進に向かった。



宇野朗子さん

は「福島から子どもを連れて福岡に避難している。温かく迎えてくれてありがとう。この事故で多くのモノを失った。故郷、残してきた家族、友人をひと時も忘れることはない。福島で被曝し続ける子どもたちを救わなければと心から思う」と訴えた。

代表呼びかけ人挨拶では7人が次々に壇上上がった。その一人、宇野朗子さん(ハイロアクション福岡)は「福島から子どもを連れて福岡に避難している。温かく迎えてくれてありがとう。この事故で多くのモノを失った。故郷、残してきた家族、友人をひと時も忘れることはない。福島で被曝し続ける子どもたちを救わなければと心から思う」と訴えた。

会場に集った15,000人の市民が3コースに分かれて「原発いらぬ!」とシュプレヒコールをあげながら、2時間にわたって舞鶴公園から天神を通り、九州電力本社前までデモ行進をした。



グリーンコープののぼりを立て、横断幕をかかげて「原発いらぬ!」と声を上げた



共同体代表理事 田中裕子さん

グリーンコープ独自の交流集会

グリーンコープはこれまで「原発と生命は共存できない」と脱原発運動をすすめてきました。原発事故が起きてしまったのに、国は放射能検査をするだけで食品の安全性を認めさせようとしています。微量の放射能汚染でも安全ではないんだ、と訴えていきたいと思ひます。私たちが子どもたちに手渡したいのは、これ以上モノのあふれる世の中ではなく、安心して暮らせる生命を大切にできる世の中だと思ひます。一人ひとりの行動で原発のない世界を実現していきたいと思ひます。



集ったグリーンコープの組合員



くまもと理事長 久米田薫さん

急遽の呼びかけにもかかわらずたくさん集まってくれてうれしです。東京から子どもを連れて熊本に避難して来た仲間の声を聞いてください。



No.41

プルサーマルの危険性と問題点

プルサーマルは、原子力発電所から出た使用済み核燃料を再処理してウランやプルトニウムを取り出し、製造した混合酸化物燃料(MOX燃料)を再び使う発電方法です。ウランを燃やすために設計された今日の原子炉にプルトニウムを入れることは、もともと危険な原子炉をさらに危険にし、「灯油のストーブでガソリンを燃やそうとするのと同じ」と言われています。

ウラン自体猛毒の放射性物質ですが、プルトニウムはそのウランに比べて数十万倍もの毒性があり強力な核兵器の材料にもなるので、保有することは国際的に厳しく監視されています。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、人びとが安心して生きていく土台を根底からくずしました。さらにプルサーマルによって原発の危険性を増大させることは許されることではありません。この問題にどのように立ち向かうか、私たち一人ひとりが考えて行動していかなくてはならないと思ひます。

あやまちは、二度とくり返したくありません。

参考文献 小出裕章氏「隠される原子力 核の真実」創史社

グリーンコープ共同体組織委員会



(長崎)理事長 高橋純子さん



ひろしま理事長 林和子さん

大変な事故を起こしたのにこの国は変わろうとしない。ここでくじけているわけにはいきません。電気に依存する暮らしも少し見直して原発を止めるまで声をあげていきたいと思ひます。

これまで関係を築いてきた東日本の方たちや農業や漁業を頑張っている生産者の皆さんのことを思うと胸が痛いです。今、自分たちでできることをやって本当に原発はいらないということを強く推しすすめていきたいと思ひます。

避難してきた女性の声

6月に家のすぐ前の放射線の数値を測ると、2.3マイクロシーベルトもあり、もう子育てはできないと思って熊本にきました。今日は心から子どもたちのために「原発はいらない」と訴えて歩きたいと思ひます。



ふくおか理事長 田原幸子さん

ふくおかは組合員事務局や職員、お店や共同購入などのワーカーズも参加してみんなで盛りあげようと思ひます。何もしなければ何も変わらない。みんな未来ある子どもたちのために、脱原発をめざして頑張ります。

投稿募集中

- 400字程度
 - A4切 毎月末
 - 住所・氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。掲載分には図書カード(500円分)進呈。
 - 住所・氏名などの組合員の個人情報、本紙に掲載の場合のみ使用します。
- 〒812-8561
福岡市博多区博多駅前1丁目5-1
カーニブレイス博多3F
グリーンコープコミュニケーションワーカーズ連(REN)「共生の時代」編集部 宛
FAX 092-481-7876
Eメールアドレス rikoho@greencoop.or.jp

※全ての原子力発電所を廃炉とし、核燃料サイクル計画を放棄し、エネルギー政策の抜本的転換を行うことを、国・県に要求し、活動している